

特定非営利活動法人

深谷にぎわい工房

ニュース No.5

2003年8月号

発行日：2003年8月8日（隔月発行）

発行所：特定非営利活動法人 深谷にぎわい工房

メール：owner-fnk@freeml.com

ウェブサイト：<http://www.geocities.co.jp/>

HeartLand-Cosmos/1107/fnk/

「深谷にぎわい工房」は、地域社会における生活の質の向上と活性化に貢献するために、まちづくりに関する調査・研究の実施、情報受発信、セミナーやイベントの開催、政策提言等を行うNPO（Non-Profit Organization：非営利組織）です。

旧柳瀬金物店倉庫再生プロジェクト

深谷にぎわい工房は、所有者のご依頼を受け、旧柳瀬金物店倉庫を市民のための多目的スペースやコミュニティ・ビジネスの場、NPO や市民団体のためのオフィス・スペースとして再生するプロジェクトを展開しています。旧柳瀬金物店倉庫は、1933年頃に建てられた倉庫で、1階部分がレンガ造、2・3階部分が木造です。

旧柳瀬金物店倉庫・1階棚取り外し作業

5月11日(日)の「レンガ倉庫大清掃イベント」に引き続き、6月21日(土)には、深谷にぎわい工房のメンバーが、1階の棚を取り外す作業を行いました。予想以上に作業がはかどり、全ての棚を取り外すことができました。棚が外されたことによって、倉庫内のレンガで囲まれた空間が広くなり、使いやすくなりました。



棚を木槌でたたいて分解してから撤去する様子

煉瓦倉庫 de 蛍の夕べ（蛍鑑賞会）

7月13日(日)に、深谷七夕祭に合わせて、第1回「煉瓦倉庫 de 蛍の夕べ」と題し、先日清掃・棚撤去を行った、旧柳瀬金物店倉庫1階を会場に、蛍の鑑賞会を開催しました。



配布したチラシ兼ポスター

あいにくの雨天にもかかわらず、開場時刻の午後7時前から整理券を配布をはじめ、多くのお客様にお集まりいただきました。ピーク時には、会場前の駐車場に行列ができ、約15分の待ち時間になるほどの盛況ぶりでした。

整理券・100円の入場料（小学生以下無料）を受付で渡し入場すると、まず観察コーナー（蛍の幼虫、餌などを観察できる）があり、その先には映像コーナー（蛍の学習CD-ROMで遊べる）仕切りを通りその先に約2000匹の蛍が光り舞う鑑賞コーナーが設置してあり、舞う蛍を楽しめる仕掛けとなっていました。

当日は、午後7時から9時の2時間で、なんと約400名の方がいらっしゃいました。中には、上福岡から電車で1時間半かけて来られた家族や、春日部から来られたカップルもいました。残念ながら、たくさんの蛍がきれいに光る様子は、写真ではお伝えすることができません。来年も開催する予定です。



旧柳瀬金物店倉庫前には行列ができた



観察コーナーで蛍の幼虫を見る



学習コーナーでは、蛍の学習 CD - ROM を体験

会員自己紹介コーナー

深谷にぎわい工房の会員が自己紹介をします。

加藤博司 副理事長



はじめまして、副理事長の加藤博司です。「深谷まちづくり協議会」では、「計画への参加・進行管理班」に参加させていただき、主に都市マスタープラン策定にあたって、市と市民との協働をいかに推進していくのか、より多くの市民がどうしたら参加していただけるのか、市民手作りのマスタープランをいかに実効性あるものにするのか、そのため市民による行政評価をいかに確立するかなどを議論してきました。私の中では、この延長上に「深谷にぎわい工房」と「いなほ会」があります。両団体の底に流れているのは愛する深谷を市民の手でいかに活性化させようかという想いです。「深谷にぎわい工房」は、「まちづくりはひとづくり」という理念のもと様々な市民活動をネットワーク化して、まち中に賑わいを取り戻すなど、市民による市民のためのまちづくりを目指しております。ボランティア団体「いなほ会」は、まち中や遊歩道などの清掃美化活動や、お年寄りや障害者施設での音楽を通じた交流活動を行っております。皆様にも積極的にまちづくりに参加していただきたいと思います。独りでは難しいとお思いの方は、是非「深谷にぎわい工房」にご参加下さい。一緒に手を携えて深谷を魅力あるまちにしましょう。あなたのお知恵とご協力をお待ちしております。

会員募集中

深谷にぎわい工房では、現在、会員を募集しております。詳しくは、ホームページにて。

年会費

正会員	個人会員・団体会員	5,000円
賛助会員	個人会員	2,000円を1口以上
	団体会員	2,000円を5口以上